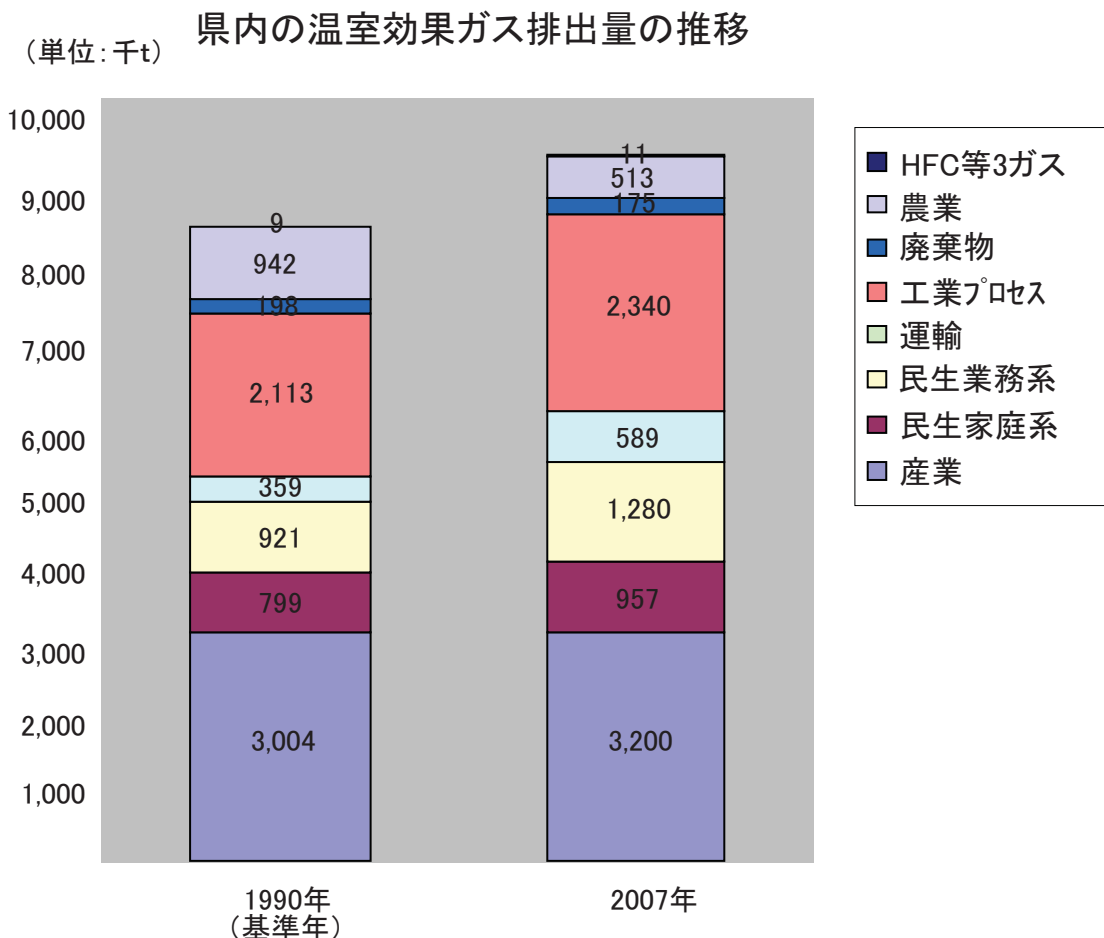


(16) 温室効果ガス排出量の推移

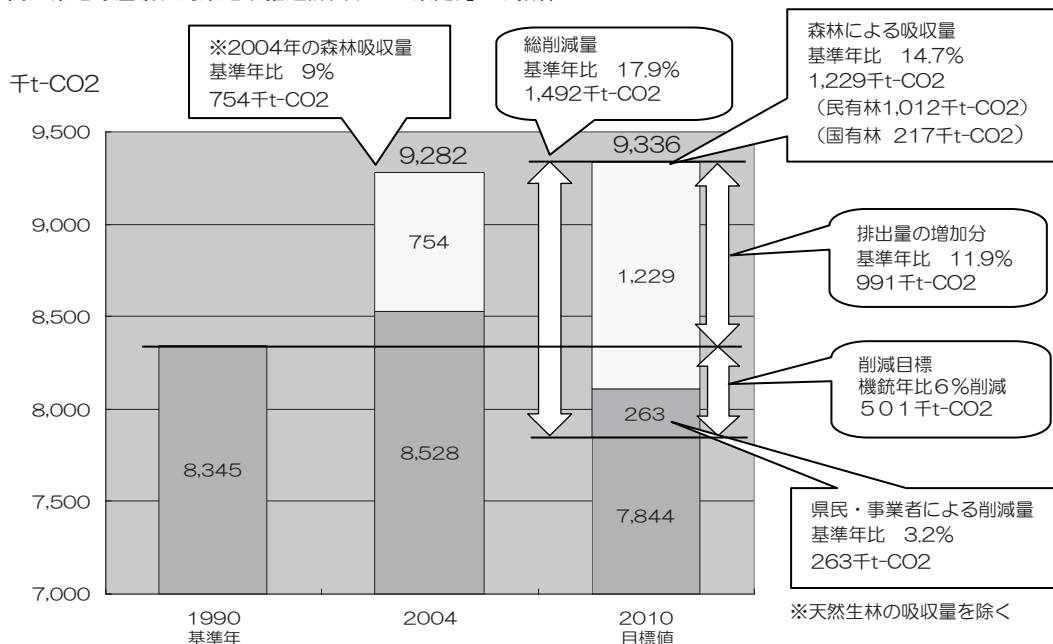
県内の温室効果ガスの排出量は、近年増加傾向にあり、特に民生部門において増加率が高くなっている。

また、産業部門からの排出量が約3割を占めている。



(参考: 高知県の温室効果ガス削減目標)

※「高知県地球温暖化対策地域推進計画(H20.4策定)」から抜粋

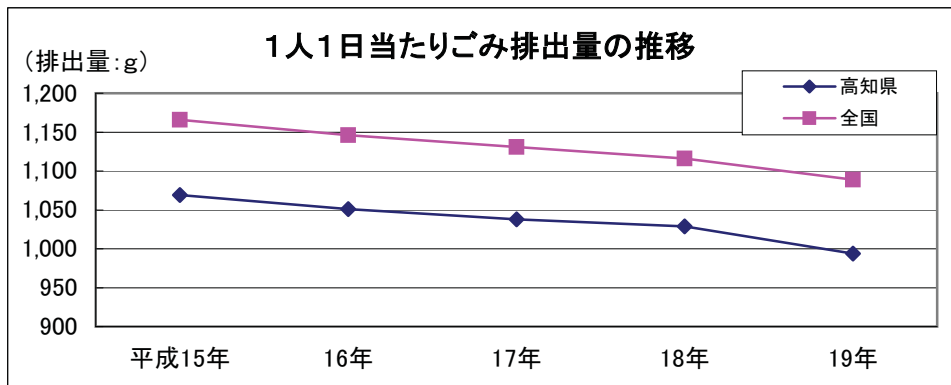


(17) ごみ処理の状況

平成19年度のごみの総排出量は287,769 tで、前年度に比べ12,033 t減少している。また、1人1日当たりの排出量は、994 gとなっている。最近では、各種リサイクル法が制定され、ごみの分別・破碎による資源化も図られており、リサイクル率も増加している。

また、平成19年度におけるごみの処理状況は、直接焼却処理が220,469t(76.7%)、焼却以外の中間処理47,267t(16.4%)、直接埋立6,792t(2.4%)、直接資源化12,397t(4.3%)、自家処理491t(0.2%)となっている。

ごみ処理経費としては91億円で、施設の建物改良費5億円、処理費に要する費用86億円が支出されており、県民1人当たりの年間ごみ処理経費でみると、11,571円となっている。



※ごみ総排出量＝収集ごみ量＋直接搬入量＋集団回収量

ごみ処理の状況

ごみ処理の方法	(H18年度)		(H19年度)	
	処理量(t/年)	割合(%)	処理量(t/年)	割合(%)
直接焼却処理	227,680	75.9	220,469	76.7
焼却以外の中間処理	49,795	16.6	47,267	16.4
直接埋立	5,849	2.0	6,792	2.4
直接資源化	15,492	5.2	12,397	4.3
自家処理	1,027	0.3	491	0.2
計	299,843	100.0	287,416	100.0

リサイクルの状況(H19年度)

分類	処理量(t/年)	割合(%)
紙	21,070	29.9
金属類	7,876	11.2
ガラス類	5,144	7.3
ペットボトル	1,031	1.5
プラスチック類	6,815	9.7
その他	28,430	40.4
計	70,366	100.0
上記とは別に、学校、町内会等により集団回収されたもの	377	—

ごみ処理に係る経費(H19年度)

経費の内容	県下の総額	県民1人当たり	割合(%)
ごみ処理施設建設改良費	4億8,733万円	616円	5.3
ごみ処理等経費	86億6,314万円	10,955円	94.7
計	91億5,047万円	11,571円	100.0